



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和5年11月

読書の秋 ～ 親子で読書に親しむ時間を ～

教務主任 大久保里美

紅葉の木々に秋の深まりを感じます。秋といえば「読書の秋」。本を読むことには、様々な効果があります。知っている言葉を増やし、感性を磨き、表現力を高めてくれます。ご家庭では、本を読むお子さんの様子は見られるでしょうか。ぜひ、親子で読書に親しむ時間を、つくっていただけたらと願っています。

さて、学校でどのように読書しやすい環境をつくっているのか、紹介します。

各学年には、学級・学年文庫として、学年に応じた本が身近に用意されています。1、2年生は各学級に本棚が置いてあり、学期ごとに本の入れ替えをしています。また、国語科

等では、学習する内容に関連した本を集め、一定期間、学年に貸し出すこともあります。図書



【2年生 学級文庫】



【1年生「じどう車くらべ」関連図書】

館司書と担任が連携しながら、子供たちの学習に役立つ環境

を整えています。朝の「チャレンジタイム」や授業の中で、読書の機会を設けている学年もあります。

図書室を見てみると、子供たちを惹き付けるさまざまな工夫がなされています。11月は、「ふるさととやま読書月間」として、富山にゆかりのある本のコーナーが設けられています。犬に関する本のコーナーでは、関連する本を読むとプレゼントがもらえるという取組を進めており、新しいジャンルの本を手取るきっかけになりそうです。

お子さんは、今どんな本を手に取り、読み始めているのでしょうか。ぜひ聞いてみてください。時には、親子で一緒に町立図書館に出かけ、本を選んでみるのもお勧めします。その時間がきっかけとなり、親子で一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたり、お子さんに本を読んでもらったりという活動につながるいいですね。読書を通して、家族の楽しい時間を過ごすことができるのではないかと思います。



【読書をする子供たち】



【図書室のコーナー】